

# 5・6年生

学習のめやす

45分～60分

## こんな時期です……

- \* 「大切にされているか」「子ども扱いされていないか」に敏感です。親とは違う「自分」がはっきりしてきて、「自分の考え」が持てるようになります。ですから大人や世の中への批判の気持ちも生まれますし、自分の考えの主張(時には反抗)もします。
- \* 「自分の行動の責任を深く自覚する」ことや「自分らしくある」ことに意義が見出せるにはまだ少し時間がかかります。「仲間からみとめられているか」が最大の関心事となり、まわりの雰囲気に合わせて行動をとりたがりやすくなります。
- \* 得意・不得意の分野が明確になり、周囲の大人のアドバイスにより意欲、関心に大きく差がでます。

## 学校では、こんなことをやっています。

- \* 学習内容が多くなり、社会や世界にも目を向けた学習に発展していきます。
- \* 自分で課題を見つけ、課題を解決し、結果を検討して高めあう形式の授業がより多くなります。
- \* 道筋をたてて考える論理的な学習・抽象的な内容の学習が、より多くなります。
- \* 中学校につながる学習のまとめ、「学び方・ものの考え方」を身につける大切な時期です。



## 家庭学習 こんな方法・内容で

国語

- 音読 文章の内容が伝わるように理解しながら読む習慣をつけましょう。他教科の教科書の音読も重要用語・内容の理解に役立ちます。
- 漢字 中学年に引き続き、学校の漢字ドリルを中心に丁寧に繰り返し書いて覚えましょう。学習した漢字は、文章を書くときに必ず使うよう習慣をつけましょう。
- 読書 本の感動を親子で語り合うことができるようになると、そのことで心を通わすことができます。
  - \* 話す力がついていない場合は、感情が高揚すると、しばしば暴力になって現れることがあります。言葉で自分を表現する「話す力」「書く力」は、自分が苦しい時に自分を助けます。
- 計算 集中力は、計算の緻密さに現れます。根気強く、確かめを自分でやれるとよいです。文章を図で表すことに慣れれば文章題が解きやすくなります。
  - ☆ 国語の理解力(言葉から画像をイメージする力)は算数の基礎力として必要です。
  - ☆ 学校からのプリント類を手渡す習慣は、高学年になっても大切です。

算数

その他

## 家庭学習のポイント

### ① 予定を立てて計画的に学習を！ ～勉強時間を決めて～

段取りの力は、大人になっての仕事の場面で、なおさら問われます。「今何を先にやれば一番いいのか」を考えて予定を立てる力を付けさせたいものです。見直しをもって学習習慣を設定させましょう。

### ② 高学年こそ基礎的な生活習慣の見直しを！

学校に慣れすぎたための生活の乱れがみられるようになります。夜更かし等、生活習慣にも大きな差がみられます。生活習慣の乱れは、「忘れ物の多さ・やる気のなさ・自分の成長に対するあきらめ」となって、その子の学校での姿に現れます。規則正しい生活からは、意欲が生まれます。

### ③ 目標・夢に向かって努力できる力を！

「しっかりした目標」「実現したい夢」「打ち込めるもの」をもっている子は、中学校に進んでも自分を表現し、仲間と認め合いながら努力を重ねていくことができます。努力したことでいつも自分の思い通りの結果がでるとは限りません。しかしそれは親の失敗談を話したり、聞かせるよい機会になります。経験は、子どもの中に「生きる自信」や「また挑戦する気持ち」になって残り、実力として積み重なっていくのでおいにほめましょう。